









なやみ

黒坂露山

創

作

ラシルの秋がだんだん深くなる  
五月の中頃の或日、慎一は清瀬を訪れる  
ため家を出た。ようやく發車にまに  
あつた彼はS町のステーションから  
汽車にのつた。  
寒い朝の空氣をやぶつて、汽車はう  
鉛がちり……鳴り出した。車掌の電  
台閣の笛に汽笛がなつて、汽車はう  
き出した。そして最後の客車がブ  
ラットホームをはなれる時分から速  
力がだんだん加わつた。

乗客は初めて窓を閉めたり帽子を取り  
つたりして、てんでにくつろいだ。  
外人ばかりの座席に割り込んだ慎  
一は、ほつと自分の前に純な早  
苗を見る事が出来た。  
そうして招待されて行くと云ふ事  
は名ばかりの座席に会わ  
れるさ云ふ事が、何とはなしに心嬉  
しくて、微笑が自然にわいて来るの  
であった。

ガアロに火をつけてしまつた慎一はシ  
アスの煙草の煙りが車窓を出て遠く  
珈琲の方にうすく消えて行く。  
秋日和を汽車に乗つた誰もかれが  
祝福されてゐる様に話合つてゐ  
早苗に會へると云ふ事が心配にな  
らぬでもなかつたが、車中の人が達が  
苦もなく話してゐるのを見ると心の  
中からもたげ出した不安が何處へか  
影を消してしまつた。

\* \* \*

時報歌壇

耕地にて歌へる

富岡耕村

◆この一日働きつかれ牧場の足を洗ふ頃はも

◆つむ人もなし道の端の名もしらぬ  
草花しげし羊飼ふ原

◆日は入て小川のきしに立つすぐた  
うすぐうつせる月さえてけり

ながらK町に出た慎一は、自動車に

しようか歩こうかと思つて暫く考へ

た末、歩くのも面白かろうとしてくる

事にした。

知らぬ顔ばかりなのに幾分氣落がし

ながらK町に出た慎一は、自動車に

しようか歩こうかと思つて暫く考へ

た末、歩くのも面白かろうとしてくる

事にした。

じつてプラットホームに出た、もし

やと思つたが誰一人彼を迎へに來て

ゐる者はなかつた、それでもとも、も

一遍よく群衆の中を見廻したが、皆

事にした。

にへくりかいなる様な町のドヨメキ

感がある。昨年開通した国道が一直

線につきて市に通じてゐる。

共同墓地を過るご珈琲園情緒が益

々くなつて行く。一つの三叉路を

よこぎつてT耕地行の本道に出た。

電線は秋の日をうけてさながら大海に出た。

暮は樂しく歌つてゐた。

◆夕ぐれはうねれる小山つくあたり

雲うつくしくわき出づるかな

◆月の明るき夜となりにけり

◆いく日かはささしと思ふのうちに

た末、歩くのも面白かろうとしてくる

事にした。

◆つむ人もなし道の端の名もしらぬ  
草花しげし羊飼ふ原

◆日は入て小川のきしに立つすぐた  
うすぐうつせる月さえてけり

ながらK町に出た慎一は、自動車に

しようか歩こうかと思つて暫く考へ

た末、歩くのも面白かろうとしてくる

事にした。

じつてプラットホームに出た、もし

やと思つたが誰一人彼を迎へに來て

ゐる者はなかつた、それでもとも、も

一遍よく群衆の中を見廻したが、皆

事にした。

にへくりかいなる様な町のドヨメキ

感がある。昨年開通した国道が一直

線につきて市に通じてゐる。

共同墓地を過るご珈琲園情緒が益

々くなつて行く。一つの三叉路を

よこぎつてT耕地行の本道に出た。

電線は秋の日をうけてさながら大海に出た。

暮は樂しく歌つてゐた。

◆夕ぐれはうねれる小山つくあたり

雲うつくしくわき出づるかな

◆月の明るき夜となりにけり

◆いく日かはささしと思ふのうちに

た末、歩くのも面白かろうとしてくる

事にした。

◆つむ人もなし道の端の名もしらぬ  
草花しげし羊飼ふ原

◆日は入て小川のきしに立つすぐた  
うすぐうつせる月さえてけり

ながらK町に出た慎一は、自動車に

しようか歩こうかと思つて暫く考へ

た末、歩くのも面白かろうとしてくる

事にした。

じつてプラットホームに出た、もし

やと思つたが誰一人彼を迎へに來て

ゐる者はなかつた、それでもとも、も

一遍よく群衆の中を見廻したが、皆

事にした。

にへくりかいなる様な町のドヨメキ

感がある。昨年開通した国道が一直

線につきて市に通じてゐる。

共同墓地を過るご珈琲園情緒が益

々くなつて行く。一つの三叉路を

よこぎつてT耕地行の本道に出た。

電線は秋の日をうけてさながら大海に出た。

暮は樂しく歌つてゐた。

◆夕ぐれはうねれる小山つくあたり

雲うつくしくわき出づるかな

◆月の明るき夜となりにけり

◆いく日かはささしと思ふのうちに

た末、歩くのも面白かろうとしてくる

事にした。

◆つむ人もなし道の端の名もしらぬ  
草花しげし羊飼ふ原

◆日は入て小川のきしに立つすぐた  
うすぐうつせる月さえてけり

ながらK町に出た慎一は、自動車に

しようか歩こうかと思つて暫く考へ

た末、歩くのも面白かろうとしてくる

事にした。

じつてプラットホームに出た、もし

やと思つたが誰一人彼を迎へに來て

ゐる者はなかつた、それでもとも、も

一遍よく群衆の中を見廻したが、皆

事にした。

にへくりかいなる様な町のドヨメキ

感がある。昨年開通した国道が一直

線につきて市に通じてゐる。

共同墓地を過るご珈琲園情緒が益

々くなつて行く。一つの三叉路を

よこぎつてT耕地行の本道に出た。

電線は秋の日をうけてさながら大海に出た。

暮は樂しく歌つてゐた。

◆夕ぐれはうねれる小山つくあたり

雲うつくしくわき出づるかな

◆月の明るき夜となりにけり

◆いく日かはささしと思ふのうちに

た末、歩くのも面白かろうとしてくる

事にした。

◆つむ人もなし道の端の名もしらぬ  
草花しげし羊飼ふ原

◆日は入て小川のきしに立つすぐた  
うすぐうつせる月さえてけり

ながらK町に出た慎一は、自動車に

しようか歩こうかと思つて暫く考へ

た末、歩くのも面白かろうとしてくる

事にした。

じつてプラットホームに出た、もし

やと思つたが誰一人彼を迎へに來て

ゐる者はなかつた、それでもとも、も

一遍よく群衆の中を見廻したが、皆

事にした。

にへくりかいなる様な町のドヨメキ

感がある。昨年開通した国道が一直

線につきて市に通じてゐる。

共同墓地を過るご珈琲園情緒が益

々くなつて行く。一つの三叉路を

よこぎつてT耕地行の本道に出た。

電線は秋の日をうけてさながら大海に出た。

暮は樂しく歌つてゐた。

◆夕ぐれはうねれる小山つくあたり

雲うつくしくわき出づるかな

◆月の明るき夜となりにけり

◆いく日かはささしと思ふのうちに

た末、歩くのも面白かろうとしてくる

事にした。

◆つむ人もなし道の端の名もしらぬ  
草花しげし羊飼ふ原

◆日は入て小川のきしに立つすぐた  
うすぐうつせる月さえてけり

ながらK町に出た慎一は、自動車に

しようか歩こうかと思つて暫く考へ

た末、歩くのも面白かろうとしてくる

事にした。

じつてプラットホームに出た、もし

やと思つたが誰一人彼を迎へに來て

ゐる者はなかつた、それでもとも、も

一遍よく群衆の中を見廻したが、皆

事にした。

にへくりかいなる様な町のドヨメキ

感がある。昨年開通した国道が一直

線につきて市に通じてゐる。

共同墓地を過るご珈琲園情緒が益

々くなつて行く。一つの三叉路を

よこぎつてT耕地行の本道に出た。

電線は秋の日をうけてさながら大海に出た。

暮は樂しく





